

「目標」別取組状況検証表

目標	1	県民に開かれた知の拠点
目指す目標像	県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。	
関連取組	1-①県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり 1-②展示コーナーを活用した情報発信 1-③ボランティア等県民との協働 2-①障害者等向け資料の充実 2-②障がい者等サービスについての広報 2-③研修会・講演会等の開催 3-①多文化エリアのサービス充実 3-②外国人向けの情報提供の充実 4-①窓口委託業務のモニタリング等 4-②満足度アンケートの実施 5-①ホームページの充実 5-②広報誌・SNSによる情報発信 5-③各種イベントへの参加	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和5年度									
活動指標1	活動指標名	イベント実施回数 (連携イベント含む)	年度別計画	R3	R4	R5 (A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 (特別整理期間を除き)週に1回以上開催する。 【R5の状況】 計画値は達成したが、システム更新による休館もあり、R4の実績値より減少となった。	年度別計画	50	50	50	50	50	順調
	備考(活動概要)	【R5の状況】 計画値は達成したが、システム更新による休館もあり、R4の実績値より減少となった。	実績値	R2	R3	R4	R5 (B)	達成割合 B/A	
	実績値	113	60	91	82	164.0%			
活動指標2	活動指標名	一般展示実施回数	年度別計画	R3	R4	R5 (A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 R2～R4展示実施回数の平均値を設定。 ※R3～R4までは、展示稼働率を活動指標として記載していたため、参考として実績値下段には、展示稼働率(展示延べ日数/(開館日数×展示架総数))を記載。	年度別計画	-	-	174回	174回	174回	順調
	備考(活動概要)	【R5の状況】 計画値は達成したが、システム更新による休館もあり、R4の実績値より減少となった。	実績値	R2	R3	R4	R5 (B)	達成割合 B/A	
	実績値	164回 (93.6%)	173回 (86.1%)	184回 (92.8%)	181回 (98.6%)	104.0%			
活動指標3	活動指標名	障害者向け資料受入冊数	年度別計画	R3	R4	R5 (A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 大活字本の年間発行冊数(毎年60冊程度)を踏まえ、最低限の収集冊数として設定。デジタル図書やLLブック、さわる絵本等は出版状況等に応じて収集を行う。 【R5の状況】 大活字本66冊 LLブック6冊 デジタル図書等51冊	年度別計画	60	60	60	60	60	順調
	備考(活動概要)	【R5の状況】 大活字本66冊 LLブック6冊 デジタル図書等51冊	実績値	R2	R3	R4	R5 (B)	達成割合 B/A	
	実績値	-	213	101	123	205.0%			
備考(その他の活動等)	○座席予約システム「とりたろう」(令和6年3月開始) ○AI蔵書探索(令和6年3月開始) ○NIEコーナー設置(令和6年3月25日) ○県立桜野特別支援学校での障がい者サービスの説明&登録会 ○台湾留学フェア ○来館者200万人達成								

II 成果指標の達成状況 (Do)

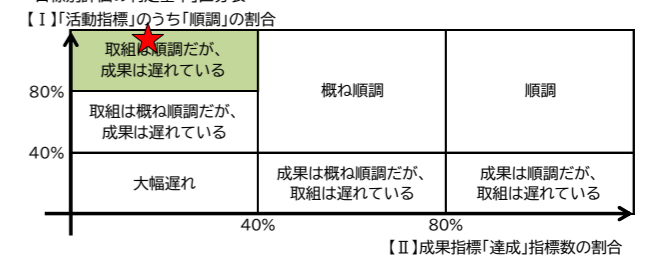
成果指標名	(参考)	基準値		実績値					計画値	目標値	R5年度達成状況
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R7	
成果指標1	ホームページアクセス(セッション)数	389,782	366,285	375,786	418,133	383,241			386,514	400,000	未達成
状況説明	【目標値設定理由】 移転開館直後のR1から概ね1万アクセス増【集計条件等】 Googleアナリティクスで当該期間を指定した際の「アクセス数」とする(図書館内からのアクセスを除く)。 【R5状況】 月平均34,840セッションのアクセスがあった。 ※過去最高43,688セッション/月(2019年1月・開館直後) 過去最低24,415セッション/月(2024年2月・システム更新等により休館)										
成果指標2	SNSリーチ数	旧Twitter 1,944,730 Youtube 未実施	2,700,463	3,368,258	1,644,717	821,824			3,485,697	4,000,000	未達成
状況説明	【目標値設定理由】 R1実績の概ね2倍【集計条件等】 旧Twitter及びYoutubeの月別のインプレッション(ページビューに相当) 【R5状況】 X(旧Twitter)について、仕様変更等に伴い、フォロワーは増加しているが、指標としているインプレッション数の減少がみられるため、今後もインプレッション数を指標とするか検討が必要。なお、Youtubeについては、各種講座・研修のアーカイブ動画等を多数掲載したこともあり、インプレッション(サムネイルが表示された回数)数が増加している。										
成果指標3	利用登録者数	24,376人	16,586人	15,154人	18,084人	16,646人			21,634人	25,000人	未達成
状況説明	【目標値設定理由】 移転開館直後のR1実績以上の利用者数を目指す。 【集計条件等】 当該年度内に利用のあった登録者数、図書館システムの「地区別登録者統計」で年度末日を基準日とし、「1年以内に利用した登録者のみ」を指定して集計 【R5状況】 年齢別では16～18歳、50代以外は、全ての年齢層で減少。特に15歳以下の減少率が高くなっている(全体△7.9%に対して、6歳以下△23.5%、7歳～9歳△21.1%、10歳～12歳△24.9%、13歳～15歳△17.5%)。										
成果指標4	利用者総合満足度(来館利用者)	-	-	88.5%	85.4%	88.7%			80%	80%	達成
状況説明	【目標値設定理由】 満足度8割以上【集計条件等】 来館利用者に対する満足度調査のうち、「県民に開かれた知の拠点」としての総合的な満足度について、「満足」、「どちらかといえば満足」を足した割合(「わからない」とした人数は母数から除く)とする。 【R5状況】 施設満足度 82.8%、資料満足度 86.6%、利用者対応満足度 96.8%										

III 目標の推進状況の分析 (Check)

(1) 目標の推進状況	
I 活動指標の進捗状況 (「順調」の割合)	100.0%
II 成果指標の達成状況 (「達成」の割合)	25.0%

目標推進状況	取組は順調だが、 成果は遅れている
--------	----------------------

「目標別評価の判定基準」区分表



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「取組は概ね順調だが、成果は遅れている」である。
活動指標については、各活動指標を着実に実施することができ、3項目全てが順調となった。
成果指標については、「ホームページアクセス(セッション)数」、「SNSリーチ数」、「利用登録者数」が目標未達成となった。
「ホームページアクセス(セッション)数」、「利用登録者数」に関しては、館内システム更新作業に伴う、約1か月間の休館による影響がひとつの要因となっていると思われる。
「SNSリーチ数」に関しては、X(旧Twitter)の仕様変更によるインプレッション数の減少が大きく影響したことにより、未達成となったと思われる。

IV 目標の推進戦略案 (Action)

○15歳以下向けのイベント等を開催し、登録利用者数の増加を図る。

「目標」別取組状況検証表

目標	2	琉球・沖縄関係資料の中核的図書館
目指す目標像	琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。	
関連取組	6-①郷土資料の網羅的収集 6-②貴重書の継続的な調査・収集 6-③移民関連資料の収集・提供 6-④視聴覚資料の調査・収集・提供 7-①適切な保存環境の整備及び収集計画の策定 7-②寄贈資料整理計画の策定 7-③郷土資料の修復・デジタル化の実施 8-①貴重資料・新収蔵資料等に係る展示会の開催 8-②図書館資料を活用した講座・セミナー等の開催 8-③デジタルアーカイブの充実 8-④郷土資料関連サービスにかかる情報発信	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和5年度									
活動指標1	活動指標名	郷土資料受入冊数(購入)	年度別計画	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 H30、R1の実績を考慮し、2,000冊/年の登録を行う。※琉球・沖縄関係の出版資料は全点購入を原則とする。 【R5の状況】 県内外の郷土関連資料の出版情報を確認しながら全点購入する方針で収集しているが、出版タイトル数の減少により購入数が減少した。	実績値	R2	R3	R4	R5(B)	達成割合 B/A	大幅遅れ
				1,809冊	1,314冊	1,774冊	1,089冊	54.5%	
活動指標2	活動指標名	郷土資料受入冊数(寄贈)	年度別計画	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 習熟度の高い登録員が新システムで登録したR1実績を考慮し、5,000冊/年の登録を行う。 【R5の状況】 R5年度は、システム更新作業のため、約1か月間登録作業が行えなかったことに加え、個人寄贈の処理が中心で書誌の作成が必要なものが多くあった。それに加えポスター類の整理など作業を要する資料の処理も重なったため、登録冊数が減少した。	実績値	R2	R3	R4	R5(B)	達成割合 B/A	やや遅れ
				8,615冊	5,418冊	4,957冊	3,410冊	68.2%	
活動指標3	活動指標名	琉球・沖縄関係展示実施回数	年度別計画	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 2箇所×12ヶ月→24回/年 実施する。 【R5の状況】 マウイ島ラハイナ復興支援パネル展示、ブラジル・ウチナーンチュ写真展「沖縄コリアの人々」、新収蔵資料展、レファレンス事例展示、追悼展示、自主企画展を行ったほか、過去に作成したパネルを活用した展示も実施した。	実績値	R2	R3	R4	R5(B)	達成割合 B/A	順調
				26回	39回	79回	39回	162.5%	
活動指標4	活動指標名	琉球・沖縄関係講座実施回数(延べ)	年度別計画	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 郷土史講座6回、歴史講座1回の他に1回開催する。 【R5の状況】 郷土史講座5回、歴史講座1回、移民関係講座2回を開催。	実績値	R2	R3	R4	R5(B)	達成割合 B/A	順調
				9	9	7	8	100.0%	
活動指標5	活動指標名	レファレンス協同データベース掲載件数	年度別計画	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況
	備考(活動概要)	【計画の概要】 12件/年※毎月1件の掲載を目指す。 【R5の状況】 計画どおり12件の事例登録を行った。	実績値	R2	R3	R4	R5(B)	達成割合 B/A	順調
				11件	12件	12件	12件	100.0%	
備考(その他の活動等)	○リメンパリングオキナワ(展示) ○琉球王国時代の家譜の寄贈受入れ(那覇士族、志良堂家の「新参密姓家譜」) ○写真で振り返る『ハワイバニフィックプレス』1977-2020(寄贈及び講演会)								

II 成果指標の達成状況 (Do)

成果指標名	成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R5年度達成状況
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R7	
成果指標1	レファレンス協同データベースアクセス数	223,270	224,474	225,630	172,281	184,810			200,000	200,000	未達成
	状況説明	【目標値設定理由】H26-28の平均アクセス数である20万アクセスを今後も維持する。 【R5状況】 R4年度より若干の伸びがみられるが、データベースサイトのアクセスカウントの方法がクローラ(インターネット上のウェブサイトを自動で巡回するプログラム)によるアクセスを対象外としているため、依然目標値へは到達できていない。 R6年度からは、R3年度以前と同様アクセスカウント方法がクローラによるアクセスも対象となったため、目標達成の見込みとなっている。 ※R5登録(新規・変更)12件									
成果指標2	琉球・沖縄関係講座満足度	79.0%	90.0%	99.0%	81.3%	86.3%			80%	80%	達成
	状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上 【R5状況】 郷土史講座：82%※、歴史講座：80%、移民：97% ※「講座に満足しましたか。」の質問に無回答とした人数は母数から除く。									
成果指標3	郷土707・サービス利用者満足度	-	-	83.3%	91.7%	96.4%			80%	80%	達成
	状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上 【R5状況】 満足50%、どちらかといえば満足46.4% 回答数56									

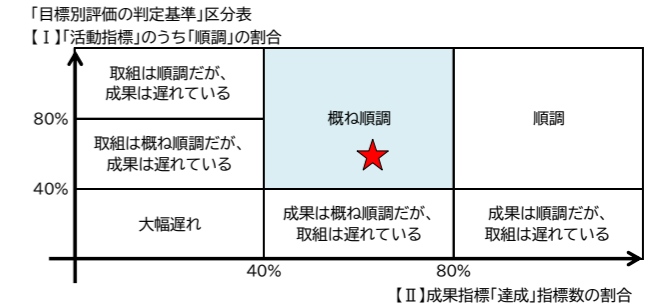
III 目標の推進状況の分析 (Check)

(1) 目標の推進状況

I 活動指標の進捗状況(「順調」の割合)	60.0%
II 成果指標の達成状況(「達成」の割合)	66.7%

目標推進状況

概ね順調



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「概ね順調」である。
活動指標については、「郷土資料受入冊数(購入)」は大幅遅れ、「郷土資料受入冊数(寄贈)」はやや遅れとなったが、その他の3項目は順調となった。「郷土資料受入冊数(購入)」の大幅遅れは、出版情報が確認できた資料は、全て収集できており、実質的には順調に推移している。「郷土資料受入冊数(寄贈)」に関しては、書誌作成等が必要な寄贈資料が多く登録に時間を要したことが減少の要因となった。
成果指標については、「レファレンス協同データベースアクセス数」が目標未達成となった。未達成の要因は、データベースサイト側のアクセスカウント方法の変更によるものであると思われるため、概ね順調と言える。

IV 目標の推進戦略案 (Action)

○各取組については、令和5年度同様に継続して実施する。
○郷土フロアに関連した企画展示等の広報の充実を図る。

「目標」別取組状況検証表

目標	3	地域や県民の課題解決を支援する図書館
目指す目標像	地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。	
関連取組	9-①健康・医療、子育て等、課題解決サポートの充実 10-①就労、企業、経営に関する資料の収集 10-②関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催 11-①国・県・市町村等事業との連携 12-①琉球・沖縄に関するレファレンス対応能力の向上 12-②郷土資料関連サービスにかかる情報発信 12-③移民関係資料を活用したルーツ調査等の実施	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和5年度									
活動指標1	活動指標名	パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(一般)	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況	
	備考(活動概要)	【計画の概要】 毎月1件の作成を目指す(12件/年)。 【R5の状況】 【内訳】 ・パスファインダー: 1件 ・ブックリスト(紙): 2件	12	12	12	12	12	大幅遅れ	
活動指標2	活動指標名	パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(郷土)	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況	
	備考(活動概要)	【計画の概要】 四半期ごとに1テーマを作成する。 【R5の状況】 4件の登録を行った。 パスファインダー3件 ブックリスト1件	4	4	4	4	4	順調	
活動指標3	活動指標名	一般展示実施回数 ※再掲	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況	
	備考(活動概要)	【計画の概要】 R2~R4展示実施回数の平均値を設定。 ※R3~R4までは、展示稼働率を活動指標として記載していたため、参考として実績値下段には、展示稼働率(展示延べ日数/開館日数×展示架総数)を記載。	-	-	218回	218回	218回	概ね順調	
活動指標4	活動指標名	レファレンス協同データベース掲載件数 ※再掲	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況	
	備考(活動概要)	【計画の概要】 12件/年※毎月1件の掲載を目指す。 【R5の状況】 計画どおり12件の事例登録を行った。	12件	12件	12件	12件	12件	順調	
活動指標5	活動指標名	課題解決支援関連図書購入冊数	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況	
	備考(活動概要)	【計画の概要】 H30-R2と同規模の購入量を確保する。 【集計条件等】 冊数は、「課題解決」「健康医療」「子育て支援」「備品課題」(備品扱いの課題解決用図書)の区分で登録された冊数の合計とする。 【R5の状況】 事業費の減に伴う資料購入冊数の減	1,500冊	1,500冊	1,500冊	1,500冊	1,500冊	大幅遅れ	
備考(その他の活動等)	〇がんピアキャラバン~泣いてよい場所、提供します~(相談会)								

II 成果指標の達成状況 (Do)

成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R5年度達成状況
			R1	R2	R3	R4	R5			
成果指標1	オンラインデータベース端末利用回数	1,097回	837回	669回	980回	860回		1,055回	1,200回	未達成
状況説明	【目標値設定理由】新型コロナウイルス感染症の拡大による休館期間を除き、R1実績と同程度【集計条件等】座席予約システムの統計機能により、各データベース端末5台(①②県内新聞③県外新聞④法令・官報、⑤市場情報・商圏分析データ)の利用回数を集計する。※各データベースごとのアクセス件数では集計できない為、端末の利用回数を集計するものとする。 【R5状況】 図書館システムの更新等による、約1か月の休館期間があったため、R4年度より利用回数が減少した。									
成果指標2	レファレンス協同データベースアクセス数※再掲	223,270	224,474	225,630	172,281	184,810		200,000	200,000	未達成
状況説明	【目標値設定理由】H26-28の平均アクセス数である20万アクセスを今後も維持する。 【R5状況】 R4年度より若干の伸びがみられるが、データベースサイトのアクセスカウントの方法がクローラ(インターネット上のウェブサイトを自動で巡回するプログラム)によるアクセスを対象外としているため、依然目標値へは到達できていない。 R6年度からは、R3年度以前と同様アクセスカウント方法がクローラによるアクセスも対象となったため、目標達成の見込みとなっている。 ※R5登録(新規・変更)12件									
成果指標3	ビジネスルーム利用数	95件	34件	14件	14件	40件		74件	100件	未達成
状況説明	【目標値設定理由】R1実績以上【集計条件等】自主事業による利用と貸出による利用の合計数とする。 【R5状況】 新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、徐々に利用件数が増えてきている。									
成果指標4	レファレンスサービス利用者満足度	-	-	100%	97.1%	97.4%		80%	80%	達成
状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上【R5状況】 満足69.2% やや満足28.2% 回答数39									

III 目標の推進状況の分析 (Check)

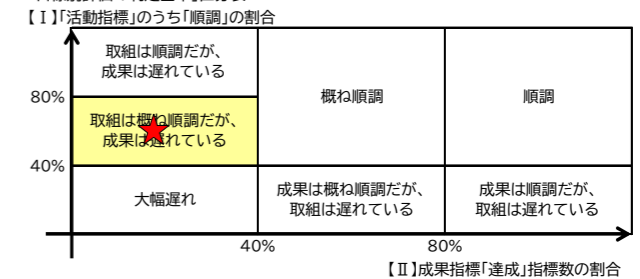
(1) 目標の推進状況

I 活動指標の進捗状況 (「順調」の割合)	40.0%
II 成果指標の達成状況 (「達成」の割合)	25.0%

目標推進状況

取組は概ね順調だが、成果は遅れている

「目標別評価の判定基準」区分表



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「取組は順調だが、成果は遅れている」である。活動指標については、「パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(一般)」、「課題解決支援関連図書購入冊数」が大幅遅れ、その他の3項目は順調となった。活動指標の「パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(一般)」に関しては、作成方法の検討、館内座席予約システム案内等の作業に時間を要したことが、減少の要因となった。「課題解決支援関連図書購入冊数」に関しては、資料費予算の減少により、購入冊数が減少した。成果指標については、「レファレンスサービス利用者満足度」以外は、目標未達成となった。成果指標の未達成となっている「オンラインデータベース端末利用回数」、「ビジネスルーム利用数」に関しては、館内システム更新に伴う、約1か月間の休館がひとつの要因となっているが、計画値まで開きがあるため、周知不足もあると思われる。「レファレンス協同データベースアクセス数」に関しては、データベースサイト側のアクセスカウント方法の変更によるものであると思われる。

IV 目標の推進戦略案 (Action)

- 〇パスファインダー・ブックリストの充実を図る。
- 〇ビジネスルームの利用促進のため、さらなる周知を図る。
- 〇資料費予算確保の検討。
- 〇出張とよかんin沖縄県庁を継続して開催し、県他事業との連携を図る。

「目標」別取組状況検証表

目標	4	県域の中核となる図書館
目指す目標像	すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。	
関連取組	13-①遠隔地返却、協力貸出、電子書籍等による利便性の向上 14-①子どもの読書活動推進に資する研修等の開催 14-②読書活動推進団体及び学校図書館の支援と連携 14-③子どもの読書活動推進に資する図書の実用展示会・イベント等の開催 15-①相互貸借に係る資料配送の支援 15-②市町村立図書館等との連携協力及び情報提供の強化 16-①移動（空とぶ）図書館、一括貸出、協力貸出の実施 16-②関係町村との連携協力・情報提供の強化 17-①関連・関係機関と連携した事業等の開催及びネットワークの強化 18-①県内図書館職員を対象とした研修計画の策定と実施 18-②県立図書館職員の専門性の向上及び研修機会の確保	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和5年度										
活動指標1	活動指標名	遠隔地返却サービス利用可能箇所数(累積値)	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況	順調	
	備考(活動概要)	【計画の概要】 R7年度までに23箇所(R1実施意向調査に基づく)で利用可能となることを目指す。 【R5の状況】 南大東村教育委員会が新たに利用可能となったが、計画値を達成できなかった。	年度別計画	15箇所	17箇所	19箇所	21箇所	23箇所		達成割合 B/A
	実績値	13箇所	15箇所	17箇所	18箇所	94.7%				
	活動指標名	学校等訪問回数	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況		
活動指標2	備考(活動概要)	【計画の概要】 1ヶ月あたり3回実施 ※学校の他、未設置町村等支援の為の訪問や、県内関係団体等からの講師依頼等を含む。 【R5の状況】 学校図書館支援訪問及び図書館活用案内(小・中・高・特)25回 図書館未設置離島町村学校等訪問(小・中)10回	年度別計画	36回	36回	36回	36回	36回	達成割合 B/A	
	実績値	21回	10回	19回	35回	97.2%				
	活動指標名	移動図書館開催回数	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況		
	活動指標3	備考(活動概要)	【計画の概要】 図書館未設置町村等で各1回実施する。 ※R5までは、図書館未設置町村等で各2回実施を目標としていたが、事業予算減により、R6からは各1回実施に計画を変更。 【R5の状況】 図書館未設置町村等の開催日程調整が不調となり、計画値を達成できなかった。	年度別計画	40回	40回	40回	21回	21回	達成割合 B/A
実績値		22回	16回	29回	16回	40.0%				
活動指標名		専門性の向上に資する研修、研究会、視察等への参加人数(延べ)	R3	R4	R5(A)	R6	R7	進捗状況		
活動指標4		備考(活動概要)	【計画の概要】 毎年(資料班・奉仕班)毎に2名参加 ※司書講習は全体で1人とカウントする。館内で実施する研修への参加は原則としてカウントしない。 【R5状況】 ・日本移民学会(1名) ・大阪府立図書館、泉大津市立図書館(2名)	年度別計画	4人	4人	4人	4人	4人	達成割合 B/A
	実績値	-	7人	4人	3人	75.0%				
	備考(その他の活動等)	○「図書館は地域のセーフティネットになっているか-誰ひとり取り残さない社会を目指して図書館ができること-」(公立図書館職員セミナー) ○誰もが読書できる社会を目指して(読書バリアフリー講演会) ○岡本さんと考えるEBPM入門(講演会)								

II 成果指標の達成状況 (Do)

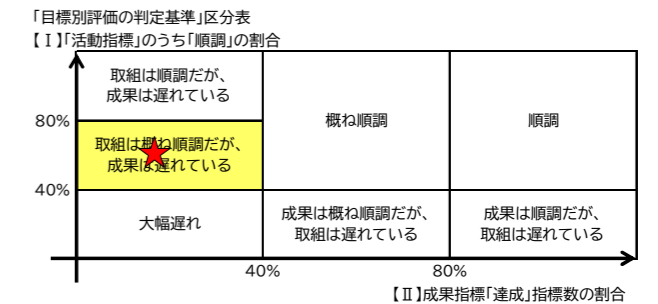
成果指標	成果指標名	(参考)	基準値		実績値					計画値	目標値	R5年度達成状況
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R7		
成果指標1	市町村巡回車資料搬送点数	23,424	22,632	21,938	24,064	23,600			24,053	25,000	未達成	
	状況説明	【目標値設定理由】R1実績と同程度の搬送量を維持 【R5状況】 うるま市等搬送点数が増えている市町村も多かったが、北中城村等搬送点数200点以上減少と大幅に減った市町村もあったため、計画値を達成することができなかった。										
成果指標2	成果指標名	(参考)	基準値		実績値					計画値	目標値	R5年度達成状況
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R7			
	未設置町村等向け貸出数	移動図書館	18,234冊	11,770冊	7,193冊	10,242冊	4,205冊			58,023冊	60,000冊	未達成
	一括貸出	39,172冊	40,188冊	36,412冊	40,364冊	37,895冊						
協力貸出	1,750冊	3,100冊	3,296冊	2,317冊	1,727冊							
合計	59,156冊	55,058冊	46,901冊	52,923冊	43,827冊							
状況説明	【目標値設定理由】R1実績と同程度以上 【R5状況】 移動図書館の開催数減少及び館内システム更新に伴う一括貸出・協力貸出の約1か月間のサービス停止により、貸出冊数が減少となったため、計画値を達成することができなかった。											
成果指標3	成果指標名	(参考)	基準値		実績値					計画値	目標値	R5年度達成状況
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R7			
	電子書籍閲覧数	-	1,378回	12,037回	7,243回	4,665回			14,000回	14,000回	未達成	
	状況説明	【目標値設定理由】同タイプの電子書籍システムの先行導入県への聞き取りによる2020年4-6月期(新型コロナウイルス感染症の影響により利用増加傾向)の平均利用回数(A県・約750回/月、B県・約1,500回/月)の平均(1,125回×12ヶ月=13,500回)から算定 ※両県とも電子書籍の所蔵数は1,050冊程度。R3.3.10からのサービス開始となる為、R2実績を基準値としては採用せず、毎年目標値を計画値として設定する。 【R5状況】 離島住民用電子書籍サービス(R5.3.13開始)をR5から対象の離島住民に向けて周知をしているがまだ利用者数が少ない状況となっている。一般向け電子書籍については、追加購入の予算が確保できず、利用を伸ばすことができなかった。										
成果指標4	成果指標名	(参考)	基準値		実績値					計画値	目標値	R5年度達成状況
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R7			
	各市町村、関係機関等満足度	-	-	100%	96.4%	96%			80%	80%	達成	
	状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上 【R5状況】 市町村立図書館：満足76% どちらかといえば満足18% 不満6% 回答数17件 図書館未設置町村：満足75% どちらかといえば満足25% 回答数8件										

III 目標の推進状況の分析 (Check)

(1) 目標の推進状況

I 活動指標の進捗状況 (「順調」の割合)	50.0%
II 成果指標の達成状況 (「達成」の割合)	25.0%

目標推進状況: 取組は概ね順調だが、成果は遅れている



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「取組は概ね順調だが、成果は遅れている」である。
活動指標については、「移動図書館開催回数」は大幅遅れ、「専門性の向上に資する研修、研究会、視察等への参加人数(延べ)」は概ね順調、その他の2項目は順調となった。「移動図書館開催回数」に関しては、関係機関と日程調整が遅れたことにより、関係機関と日程を合わせることができず、開催数が減少となった。
成果指標については、「各市町村、関係機関等満足度」以外は、未達成となった。「市町村巡回車資料搬送点数」、「未設置町村等向け貸出数」に関しては、貸出が減少した市町村と移動図書館の開催数減少が要因となった。「電子書籍閲覧数」に関しては、電子書籍のタイトル数が少ない点や電子書籍が閲覧できることを知らない利用者もいることが伸び悩んでいる要因と思われる。

(2) 目標の推進状況の分析

IV 目標の推進戦略案 (Action)

- 資料費の予算確保策の検討
- 電子書籍の周知・広報の充実
- 前年度から移動図書館開催に向け関係機関と連携を図る。
- 一括貸出を利用して、未設置町村等が主体的なイベント等を行えるよう連携を図る。